

消化器外科を受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	ロボット支援下膵切除術の短期成績に関する検討
研究機関名及び 研究機関の長 (試料・情報の管理 責任者)	愛知医科大学病院 病院長 道勇学
研究責任者	(担当科) 外科学講座(消化器外科)(職名) 講師 (氏名) 深見保之
試料・情報の利用目的 及び利用方法	<p>〔利用目的〕</p> <p>ロボット支援下膵切除術は各施設に普及し始めていますが、短期成績に関する検討は少ないのが現状です。当院におけるロボット支援下膵切除術の短期成績を明らかにすることを目的としています。</p> <p>〔対象となる患者さん〕</p> <p>2022年7月から2025年4月までに、当院消化器外科でロボット支援下膵切除術を施行した患者さん</p> <p>〔研究期間〕</p> <p>研究実施承認日 ~ 2025年12月31日</p> <p>〔利用方法〕</p> <p>診療情報から周術期管理に関わるデータ(年齢、性別、BMI、術前アルブミン値、術式)や短期成績(手術時間、出血量、術後90日以内の合併症)に関わるリスク因子について解析します。詳しい研究計画及び研究の方法に関する資料を入手や閲覧することができます。ご希望の場合は、下記問い合わせ先にご連絡下さい。</p> <p>〔他の機関へ提供される場合はその方法〕【なし】</p>
利用又は提供する試料・情報の項目	<p>試料:【該当なし】</p> <p>情報: 年齢、性別、BMI、術前アルブミン値、術式、手術時間、出血量、術後90日以内の合併症(膵液瘻、腹腔内膿瘍、術後出血、胃内容排泄遅延、菌血症)など</p>
試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名	【非該当】
提供する試料・情報の取得の方法	【非該当】

提供する試料・情報 を用いる研究に係る 研究機関名・研究責 任者名	【非該当】
利用する者の範囲	【非該当】
試料・情報の利用又 は提供を希望しない 場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2025年7月31日までに窓口での受付により下記問い合わせ先まで申し出てください。
問い合わせ先	愛知医科大学医学部 外科学講座（消化器外科） 担当者：（職名）講師 （氏名）深見保之 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311（内線 22121）